



2026年3月

南半球からこんにちは

PROBUS Global の会長を務める機会を与えられたことを大変光栄に思います。

リチャード・ファーロング氏の後任を務めるのは非常に困難ですが、チームメンバーやウェブマスターのピーター・ジェニングス氏の協力を得て最善を尽くします。

私は数年間オーストラリアのコーディネーターを務めており、PROBUS Global が提供する友情、親睦、アイデアの交換を楽しんで、このグローバル ビレッジの文化と言語の架け橋となりました。

南半球の秋分が近づいており、ここオーストラリアでは、場所によっては気温が50°Cに達した非常に暑く乾燥した夏から、少しでも解放されることを願っています。

オーストラリアは対照的な国です。赤道に最も近い北部ではひどい洪水が起きるが、南部の州では干ばつや山火事が起きる。

私は、ある若い女性を書いた素敵な詩の一節を思い出します。

イギリスからオーストラリアに移住し、「私の国」と呼ばれる

‘私は日焼けした国を愛している、  
広大な平原の地、  
険しい山脈の  
干ばつと洪水の雨’

会長として、私は PROBUS Global の活動範囲を拡大し、プロバスおよび プロバスクラブに所属することのメリットをこの地球村全体に広め、職場を退職した多くの人々が直面する社会的孤立を軽減する方法について、皆様からのご提案を歓迎いたします。

リチャードの夢の一つであり、私も実現したいのは、遠隔地、国、または地域にプロバスクラブがない地域に住む人々などのように関わり、会員登録の問い合わせを受け付けるかということです。例えば、「PROBUS Global E-Club」という名称で、会員同士がチャットできる専用の「チャットグループ」を設けるなど、様々なサービスへの参加も可能にしたいと考えています。

マーヴ・リチェンズ

マーヴ・リチェンズ会長 OAM

「この男にはハエはつかない」！

マーヴはスプリングウッドのプロバスクラブの会員です。1964年以来、ロータリアンとして地域社会に貢献し、元地区ガバナー、ポール・ハリス・フェロー、ロータリー財団ベネファクターを務めています。国際ロータリーの数々の委員会で委員を務め、現在もローガンホルム・ロータリークラブの会員として活動しています。長年にわたりプロバスにも積極的に関わっており、1993年にはニューサウスウェールズ州グーネラバのプロバスクラブ、2001年には現在のクラブであるスプリングウッドのプロバスクラブのコーディネーターを務めました。近年は、ロータリー第9620地区プロバス委員長（RDPC）を務め、現在は担当地域のプロバス地区委員長（PDC）を務め、クイーンズランド州における複数の新クラブの設立にも携わっています。



彼は数年間、Probus Globalのオーストラリアコーディネーターを務め、ニュースレターにも定期的に寄稿しています。コミュニティボランティア活動が評価され、2019年にオーストラリア勲章（OAM）を授与されました。彼は長年、冷凍空調設備の請負業務に携わっており、コンピューターとIT業界にも関心を持っています。

同じくプロビアンであるマーガレットと結婚し、3人の子供と9人の孫、8人のひ孫がいます。彼らは皆、近所に住んでいて、彼らの生活の大切な一部となっています。

キャラバンで小旅行に出かけ、特にプロバスが提供する楽しさ、友情、親睦を満喫しています。

マーヴはウェールズにルーツを持ち、遠い祖母キャサリン・オーウェンズは1858年にニューブランズウィック州で1854年に建造された996トンの木造帆船「グラン・トリアノン」でオーストラリアへ移住しました。この船は、特にイギリスからオーストラリアへの航路で、商品や移民を輸送する商船として利用されていました。

2026年もかなり過ぎたので、皆様に新年の挨拶をするにはもう遅すぎるくらいですが、この挨拶は伝統的に、12月のニュースレターでお送りしたクリスマスの挨拶に追加されるものです。

クリスマス期間中、クラブが様々な活動に関わっていた様子から、私が受け取った食べ物に関する写真から判断すると、皆さんは明らかに充実したおもてなしを受けていたようです。南半球では、アッシュズ・テストでのイングランドの屈辱的な敗北を見ながら、サラダとエビを食べてクリスマスを満喫されたようです。これは私たちにとってはもはや慣れ親しんだ光景ですが、北半球では、嵐の中、温まろうとガスと電気のメーターがぐるぐる回るのを見ながらロースターキーを堪能されたことでしょう！しかし、春の訪れは既に始まっており、スノードロップやラップスイセンが至る所で咲き誇り、気分を明るくしてくれています。そこで、ウェールズの歴史について少しお話ししましょう。

3月のニュースレターでは、オーストラリア記念日と聖デイビッドの日という2つの重要なイベントを祝います。

1月26日はオーストラリアの公式記念日であり、大陸における最初のヨーロッパ人による恒久的な入植地の設立を記念する日です。

1788年1月26日、アーサー・フィリップは囚人を満載した船を率いて現在のシドニー湾に入植し、その場所に英国国旗を掲揚しました。プロバスクラブはきっとこの建国記念日を盛大に祝うことでしょう。



英国で販売されている、チョコレートとココナッツに浸したオーストラリアを代表するスポンジケーキ「ラミントンズ」は、2025年にマークス&スペンサーで発売される。

オーストラリアの snack 菓子とよく関連付けられますが、この名前はスコットランド、サウス・ラナークシャーのラミントン村に由来しています。ピガールとラナークの間に位置し、A702幹線道路沿いにあります。ウィリアム・ウォレスの伝説的な妻、マリオン・ブレイドフートの故郷と伝えられています。ラミントン男爵領は、1368年にサー・ウィリアム・シートンの義理の息子であるホプリグの2代目ウィリアム・ド・ベイリーに与えられました。男爵の首長は当初、ラミントン・タワーに置かれていました。

オーストラリアデーの日付変更については議論が続いており、1994年に流刑地を建設するためにシドニーに最初の艦隊が上陸したことを祝うため、この日が国民の祝日と宣言された。

近年、先住民たちはこの日を「侵略の日」と呼んでいる。

現在のオーストラリアの東部は当時ニューサウスウェールズと呼ばれていましたが、アーサー・フィリップは当初そう呼んでいませんでした。彼は、1770年に東海岸の領有権を主張したジェームズ・クック中尉から与えられた名前を採用しました。この名前は、イギリスのニューサウスウェールズの海岸線に似ていることから選ばれました。

クックは当初「ニューウェールズ」を検討していたが、最終的に「ニューサウスウェールズ」に落ち着き、オーストラリア西部は当時もニューホランドと呼ばれていた。

オーストラリアは、1817年12月にラクラン・マッコリー総督によって「ニューホランド」に代わる名称として初めて正式に提唱され、探検家マシュー・フリンダースの提唱を受けて1824年にイギリス海軍本部によって正式に採用されました。テラ・アウストラリス（南の地）という概念は何世紀にもわたって存在していましたが、1820年代から1830年代にかけて大陸の一般的な名称となりました。

プロバス・サウスパシフィックは今年50周年を迎えます。プロバスへの入会メリットをアピールすることで、新規会員獲得の機会となります。クラブが自らのストーリーを地元メディア、ソーシャルメディア、地域社会など、様々な媒体で共有できるよう、プロモーション&アクティビティキットを作成しました。このキットには、クラブが年間を通してこの記念すべき節目をどのように祝うことができるかについて、様々なアイデアが掲載されています。

オーストラリア連邦総督、サム・モスティン閣下は、プロバスが全国に及ぼす重要な貢献を称えられました。閣下は、「皆様は地域社会の一員として、全国の都市、町、そして地域の福祉に持続的な貢献をされています。私は、多くの家族の生活、そして私がオーストラリア各地を訪れた地域社会において、プロバスが及ぼす計り知れない影響を目の当たりにし、今もなおその影響を称賛し続けています」と述べています。

これが期待通りの効果をもたらし、プロバスがオーストラリアで行っている素晴らしい活動が拡大することを期待しましょう。

興味深い事実がいくつかありました。

オーストラリアにお住いの皆さんには興味深いかも知れません。

- 首都キャンベラ (ACT)の名称は、コンペの結果決定されました。落選した候補には、デモクラティア、カンガレム、オーストララムールーなどがありました。1913年3月12日、総督夫人のデンマン夫人は、キャンベラがオーストラリアの新しい首都の名称であると発表しました。
- メルボルンでは、わいせつなバラードを歌うと懲役6ヶ月の刑に処せられる。  
1966年簡易犯罪法 (Vic) 第17条。
- クイーンズランド州では、ペットのウサギを飼うことは違法です。重い罰金と6ヶ月の懲役が科せられます。  
ペットの飼い主に懲役刑が科される可能性があります！
- 1998年、クイーンズランド州の健康安全報告書では、「体のいかなる部分もワニの口に入れないように」と勧告されています。1998年職場健康安全 (勧告基準) 通知。
  - 2013年の調査では、イギリス人の10%がオーストラリアは月よりも遠いと考えていることがわかりました (驚くことではありません)。
- 2010年から2013年までオーストラリア初にして唯一の女性首相を務めたのは、1961年にサウスウェールズのバリーで生まれたジュリア・ギラード氏です。1966年に家族はアデレードに移住し、彼女はそこで学校に通い、後に大学に進学しました。

## ウェールズからのニュース

3月1日は、ウェールズの守護聖人である聖デイヴィッドを祝う聖デイヴィッドデー（「Dydd Gŷl Dewi Hapus!」）です。ウェールズの町や都市では多くのパレードが行われ、子供たちは伝統的な衣装を着て、水仙やネギを身につけます。ただし、英国では祝日として認められていません。

英国も、1485年にヘンリー7世がウェールズの国旗を国賓としてセント・オーガスティンに持ち込んだ際に赤いドラゴンをあしらった旗を使用していたものの、1959年に公式に採用されるまでウェールズの国旗を認めていなかった。

ロンドンのセント・ポール大聖堂と、チューダー朝の王家の紋章のサポーターとしてドラゴンが追加されました。旗の緑と白の色は、ヘンリー7世、ヘンリー8世、エドワード6世、メアリー1世、エリザベス1世の5人の君主が118年間イギリスを統治したチューダー家の色です。ヘンリー7世は1457年にペンブルック城で生まれ、ボズワースの戦いでリチャード3世を破ってチューダー朝を建国した最初のチューダー朝の君主でした。彼はイギリスで

唯一のウェールズ人王であり、この城での彼の誕生はイギリスの歴史における新しい時代の始まりを示しました。ウェールズの旗は「ユニオン・フラッグ」（別名「ユニオン・ジャック」）の一部ではありません。



ウェールズの国旗に関する別の説明は、上部の白い半分は高い雪を頂いた山々が連なる北ウェールズを表し、下部の緑の半分は牛や羊の生産を支える緑豊かな牧草地のある中部および南部ウェールズを表し、間にある赤いドラゴンは義母を表しているというものです。



ランドリンドッド・ウェルズ・プロバス・クラブ会員のアラン・クインシー氏は、長年にわたるクラブへのご支援に対し、先日名誉終身会員の称号を授与されました。2005年に入会し、2013年から2014年にかけて会長を務め、数々の興味深い講演やモノローグを行いました。イギリスのリンカンシャー生まれのアラン氏は、職業はアーティスト兼グラフィックデザイナーですが、娘と共にゼンタングルを実践しています。ゼンタングルは、「タングル」と呼ばれる構造化された反復パターンを用いて、小さな正方形に美しく精巧なデザインを描く瞑想的なアートで、リラクゼーション、集中力、マインドフルネスを促進します。芸術的スキルに関わらず、誰でも参加できます。

## インドからのニュース

再び、インドのチェンナイにあるプロバスクラブの会長からニュースを受け取りました。

これはポンガル祭を記念したものであり、クラブは1月12日、チェンナイのゴパラプラム男子高等学校で、祭典を祝い、生徒と学者の優秀さを称える特別イベントを開催しました。プログラムでは、名誉あるプロバス・ティルックラル・ヴィルドゥの授与と、生徒への賞品授与が行われました。



チェンナイ・プロバスクラブ会長のプロビアン M・アナドゥライ氏が式典を主宰し、歓迎の挨拶を行いました。アナドゥライ氏は挨拶の中で、クラブが社会奉仕活動、特に学生や一般市民にティルックラルの価値を広めることに継続的に取り組んでいることを強調しました。この年次活動の一環として、クラブはティルックラルの普及に多大な貢献をした個人にプロバス・ティルックラル・ヴィルドゥ賞を授与するほか、ティルックラルに関連したテーマで生徒を対象としたエッセイおよび弁論コンテストを開催しています。さらに、クラブは毎年、優秀な女子生徒と男子生徒をそれぞれ1名ずつ選出し、その功績を称えて腕時計を贈呈しています。

60名を超える会員、学生、教師がプログラムに参加し、最後にお菓子の配布が行われました。司会はバヴァニ博士が務め、チェンナイ・プロバスクラブ事務局長プロビアン V・ラマラージ氏による謝辞で締めくくられました。

この行事の主賓は、著名な作家であり、インディアン・フロントライナーズ、クウェート、ペナカル・ペラヴァイの創設者でもあるシュリ NC・モハンダス氏で、特別講演を行いました。今年のプロバス・ティルックラル・ヴィルドゥ賞は、著名なティルックラル学者のシュリ M氏に授与されました。

チャッカラヴァルティ氏は、ティルックラルの教えを広める献身的な努力を称え、故プロビアンズCR氏を偲んで設立された基金を通じて、ティルックラルのコンテストで優秀な成績を収めた学生にいくつかの賞を授与しました。

ヴァイディースワラン氏、V・チャンドラ氏、そしてキャプテン M・シンガ・ラジャ氏。また、故TT・スリニヴァサ ムルティ氏のご遺族から、優秀な生徒に腕時計が贈られました。

編集者注:

Probians が、自分たちのグループ内だけでなく、将来のプロビアンとなるであろう今日の若者を含むより広い聴衆と関わり、参加し続けているのを見るのは、非常に心強いことです。

ポンガル祭は暦の中でも非常に重要な行事であり、収穫を祝う複数日にわたるヒンドゥー教の祭りであり、伝統によれば、この祭りは冬至の終わりを告げるものである。

そして、太陽が山羊座に入ると、ウッタラヤナと呼ばれる太陽の北方への6か月に渡る旅が始まります。

---

## カナダからのニュース

12月9日、セントキャサリンズクラブカナダのZoomミーティングに招待され、ヒュー ゲイラー氏が私の趣味である鉄道についてのプレゼンテーションを行うのを聞きました。ヒュー氏は、イギリスの少年たちの間で流行している「トレインスポッティング」現象について言及していましたが、私もその一人であることを告白し、今では鉄道に関する本の著者にもなっています。25年ほど前、私がカナダとアメリカを5週間かけて講演旅行した際、彼と同じようにバンクーバーからトロントまでVIA鉄道で旅をしました。もちろんファーストクラスで個室付きで、車内の食事も最高だったと彼に全く同感です。講演者が述べたように、貨物が優先されるため遅延が頻繁に発生しますが、英国では旅客列車が貨物よりも優先されます。主要な通勤路線では日中、線路の空き容量が98%あるため、貨物は主に夜間に運行されません。

トロント滞在中、カナダとイギリスのハーフの家族に数日間滞在させてもらいました。奥さんの弟さんはかつてトロントブルージェイズの選手で、ブルージェイズはボストンレッドソックスと対戦していました。私たち全員で試合を観戦しました。もちろん、VIPボックス席で、飲み物もたくさん用意されていましたが、誰が勝ったかは覚えていません！

ヒューと私には共通点があるようです。二人ともイギリス出身で、二人とも名誉教授であり、二人ともロンドン スクール・オブ・エコノミクスで学んだのです。

## 大晦日に Hogmanay を祝った方法

プロバス・ギルドウッドのバリー・モーガンさんからの素敵な投稿は、スコットランドのもう一つの儀式「バーンズナイト」と同様に、私の心に響きました。1月25日は、スコットランドの伝説的詩人「ロビー・バーンズ」を称えるスコットランドの儀式の一つです。バーンズナイトの伝統は、スコットランドの国民的詩人口バート・バーンズを称える祝賀晩餐会を中心に展開され、ハギス、ニープ、タティーズ、バグパイプの演奏、バーンズ氏の有名な詩（「ハギスへの手紙」など）の朗読、乾杯、ウイスキー、そして「オールド・ラング・サイン」で締めくくられます。

スコットランドとの国境に近いイングランドのノーサンバーランドで育った私たちは、バグパイプやハギスなど、スコットランドの多くの趣味や習慣を共有していました。中でも最も盛んに行われ、楽しまれたのは、大晦日に「Hogmanay」を祝うことでした。Hogmanayとはスコットランド語で「年の最後の日」を意味し、「オールド・ラング・サイン」を歌う習慣の起源でもあります。「オールド・ラング・サイン」は「ずっと昔から」または「昔を懐かしんで」という意味です。

また、「ファーストフット」という習慣もあり、真夜中過ぎに最初に家に入った人が「ファーストフット」となります。ファーストフットは石炭と少量の砂糖を包んで持ち歩きます。

真夜中になる直前に、紙切れを掲げて家の外に出ます。そして真夜中になると、ノックするかドアベルを鳴らします。すると、客人がドアを開けて「最初の足」を迎えます。焚き火の時代は、石炭と砂糖が火の中に置かれます。石炭は熱と暖かさを象徴し、砂糖は美しい思い出を象徴するように、色とりどりに燃え上がります。また、スコッチのボトルかフラスコも必ず用意され、周りの人々に少しのスコッチを振る舞い、涙と抱擁の中で「オールド・ラング・サイン」を心から歌いながら新年を祝います。



イングランドのこの地域の宝の一つは、ホーリー島にあるリンディスファーン城です。イングランド北東海岸沖に位置し、満潮によって1日に2回島が分断されるこの島には、西暦6世紀からの歴史が記録されており、ケルト系キリスト教の重要な中心地でした。ホーリー島の修道士たちは「ミード」と呼ばれるアルコール飲料を作っていました。私は何度か訪れた際に、このミードを購入しました。このミードは島のセント・エイダズ・ワイナリーで発酵され、もともとは西暦600年頃に修道士たちが蜂蜜とブドウから薬用として作っていたものです。

私の意見では、この島には魔法のような雰囲気があり、ノーサンバーランドに戻るたびに必ず訪れています。「リンディスファーン ミード」がまだ売られている限り、これは私のやりたいことリストの主要項目です。

乾杯、ヒック！

-バリー・モーガン

---

ナイアガラ サウスコースト・プロバスクラブへようこそ

世界中のクラブが会員とボランティアの不足により解散に追い込まれています。ナイアガラ サウスコースト・プロバスクラブは、90名の会員を迎えて初の公式会合を開きました。ウィリアムトーマスは、熱心なクラブ創設者数名の協力を得て、どのようにしてこの会合を成功させたのかを語ります。



私はユーモアセンスがあり、コリングウッドで「笑ってもいい頃、誰も生きてこの場から抜け出せない」と題した講演を終えたばかりで、私の最後の著書『だからこそ私は小さな町での生活が好きなのだ』にサインをしていた時、親切な司会者クレイグ・ポドボルスキーが、聴衆の中に他のプロバスクラブの会長がいて、私にまた戻ってきてそれぞれのクラブで講演してほしいと言っていると聞いたのです。コリングウッド地域にはそのようなクラブが13あるのに、私の故郷ポートコルボーンには一つもないと聞きました！ロータリーから「コンバスクラブ」を分離してプロバスを設立したイギリスのフレッド・カーンヒルのように、私も使命感に駆られた男だったので。

ナイアガラの南側では、プロバスについて聞いたことのある人は誰もいなかったようで、そのシンプルな美しさ、友情と好奇心、学びと繋がり、友情と楽しさを理解する人はほとんどいませんでした。私は図書館で会合を開き、最初は2人、それから10人になり、40人が集まる大きなギルドホールに移りました。

会員候補や理事候補が集まってくるのを見るのは、本当にワクワクしました。しかし、そこから関心と熱意が薄れ、徐々に会員数は半分まで減っていき、もう諦めようかと思いました。

私は参加型ではなく実行型だと自負していますが、会議に出席するだけで何もしない人が多いことに驚きました。コミュニティへのメリットを理解できない人々には失望しました。ボランティア活動に参加するよりも、むしろCOVID-19に感染する方がましだと考える人がこんなにもいるとは、本当にショックでした！

7月のコリングウッドでのプレゼンテーションから9月中旬に私が企画した12回目の会議までに、会議参加者が10名に減ったので、「終了」を発表するつもりでした。

しかし、その機会は得られませんでした。突然、彼らの質問はプロバス運動にとってより切実で適切なものになりました。会話は活発になり、中には白熱したものもありましたが、ついに彼らは理解しました！その会合で、半数の人が主導的な役割を担うことに同意し、残りの半数は真剣に検討することを約束しました。

ナイアガラの3紙に毎週掲載しているユーモアコラムでクラブ設立を告知したところ、公開集会には多くの参加者が集まりました。素晴らしいことでしたが、まだ理事会は設置されておらず、ボランティアも10人ほど足りませんでした。

私のプレゼンテーションの質疑応答では、物乞いも含まれていましたが、ある女性が質問するために手を挙げました。私は彼女に立ち上がって名前を言うように頼みましたが、彼女は非常に渋々そうしました。

彼女の質問に応じて、私は聴衆に「テリ、プロバスの新しい会計係です」と声をかけました。大きな笑いとたくさんの拍手が起こりましたが、なんとテリ・ピャーノが新しい会計係になったのです。彼女の夫であるラースは特別イベントコーディネーターを務め、10のグループが活動しており、さらに2つの特別イベントも企画中です。ユーモアの力に歓喜です。

何か新しい特別なことに参加する興奮が広がり、時には多少の困難もあった残りのすべてがうまく収まりました。

そこから得られた教訓は？ボランティアがいなければ、私たちの世界は徐々に機能不全に陥ってしまうだろう。大多数の人々は依然として互いを思いやり、地域社会全体の利益のために働きたろう。人類学者マーガレット・ミードの言葉は、まさに正しかった。「思慮深く献身的な市民の小さな集団が世界を変えることができることを、決して疑ってはならない」

- ウィリアム・トーマス

編集者注:

スリランカの大学で教鞭をとっていた頃、同僚の一人がオタワ大学への交換留学から戻ってきたばかりでした。彼は「ベーコンサンドイッチ」という新発見の食べ物に夢中になっていました。50年以上もご飯とカレーばかりの食生活を送っていた彼にとって、これはまさに啓示でした。ありがたいことに彼はイスラム教徒ではなく仏教徒だったので、この素晴らしい料理を堪能できたのです。かつて建設現場で働いていた私たちは、ベーコンサンドイッチ、フィッシュアンドチップス、ステーキアンドキドニーパイとチップス、コーニッシュパステイといった食べ物で育ちました。ミシュランの星を獲得するような料理ではありませんでしたが、それでも凍えるような寒さの中でガス管や配管を取り付けるという重労働をこなすためのカロリー源となっていました。では、完璧なベーコンサンドイッチを作るにはどうすればいいのでしょうか？インターネットで見つけたアドバイスがこれです。

どのようなベーコンを使えばいいでしょうか？

ベーコンサンドイッチは、ベーコンではなくバックベーコンを使います。尾のカリカリとした食感も楽しめますが、メダリオンの部分が肉の味を引き立てます。燻製と非燻製の違いは、燻製を強くお勧めします。燻製でないと、せっかくの風味が台無しになってしまいます！忘れないでください、このサンドイッチのメインはベーコンだけ。ベーコンの魅力を最大限に引き出しましょう！

ベーコンの調理方法は？

フライパンで焼くと、オーブンで焼くよりも食感をコントロールできます。中火で焼くことをお勧めします。火力が強すぎると脂が溶け出さず、弱すぎると肉がカラメル化しません。私は普段はカリカリのベーコンが好きですが、ベーコンがカリカリになるまで焼くのがおすすめです。脂が溶けてカリカリになる程度で、ベーコンが縮んでしまうほどではありません。肉の食感を残したいのです。



ベーコンサンドイッチにはベーコンを何枚入れるべきでしょうか？

サンドイッチ1枚につきベーコン4枚。ベーコンは縮むので、4枚というのは四角いパン1枚につき片側2枚という意味です。

ベーコンサンドイッチに最適なパンは何ですか？

厚くて柔らかい白いサンドイッチ用パン。全粒粉パンは犯罪で、シード入りのパンはただ邪魔なだけ。ベーコンバティは不健康だ。そうでないふりをするのはやめよう。

ベーコンサンドイッチをトーストすべきか？いいえ、絶対にダメです

ベーコンサンドイッチに最適なソースは何ですか？

伝統的にはケチャップが定番で、私もいつもそれを選んでいますが、ブラウンソースも悪くありませんが、ソーセージサンドイッチには合いません。マスタード、チリソース、バーベキューソース、マヨネーズは、今すぐにでもやめてください。

ベーコンサンドイッチにバターは塗りますか？

ベーコンパティと呼ばれるのには理由があります！バターを惜しみなく塗ってください。そう、両面にバターを塗って振り返らないで。それから、ちゃんとしたバター（マーガリンではない）を選んでください。

ベーコンサンドイッチの提供

ベーコンサンドイッチと一緒に何かお召し上がりですか？ 紅茶一杯で十分です。ベーコンサンドイッチこそがメインイベントですから、ごまかさないで。



---

カナダからのさらなるニュース

トロント・ウォーターフロントのプロバスクラブ、リッチモンドヒルのプロバスクラブ、そしてオンタリオ州ブラッドフォードのプロバスクラブの3つのクラブのメンバーは、11月23日に開催された毎年恒例のトロント・サンタクロースパレードに誇りを持って参加し、高齢者の方々が地域社会で活発で活気に満ちた役割を果たしていることを示しました。彼らの熱意、活力、そして厚着をして楽しもうとする意欲は、年齢は参加の障壁ではないことを示していました。地域イベントへの支援、ボランティア活動、あるいは単にホリデーシーズンの雰囲気を広めるなど、メンバーは模範を示し続け、積極的に活動することで心を若々しく保つことができることを証明しています。

## 今月の写真



アントニン・プロバスクラブのデレク マンソンさんが、スコットランドのカレンダーで餌と戯れるカワセミの美しい写真を共有してくれました。ぜひフォトクラブのページであなたの写真をシェアしてください。

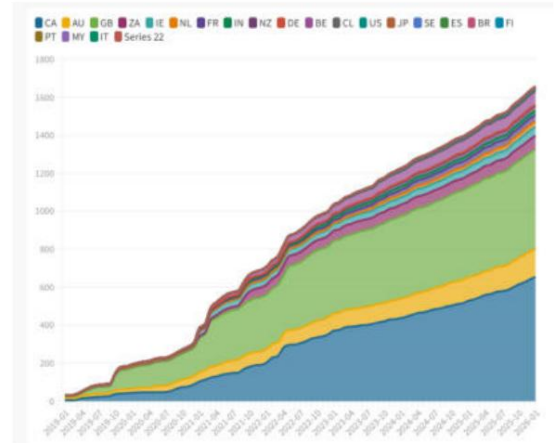
---

## プロバスグローバルの成長

プロバスグローバルの会員数は22か国の800クラブから1,600名を超えています。

2年前までは英国からの会員が他国よりも多かったのですが、現在ではカナダが39%と圧倒的な割合を占めています。英国は32%、オーストラリアはわずか9%と大きく後れを取っています。オーストラリア出身の会長が就任したことで、オーストラリアからも新たな会員を獲得できるかもしれません。

会員統計は、FAQ ページのリンクからアクセスできる統計 Web ページで随時更新されます: <https://probusglobal.org/Statistics/>



知っていましたか？

カナダのオンタリオ州コリングウッドには、合計 2,236 人の会員を擁する 10 の プロバスクラブがあります。

カナダ統計局によると、コリングウッドの人口は24,811人で、そのうち7,435人が65歳以上です（2021年）。

私たちはこれらのメンバーからクラブを成長させ、管理する方法を学ぶ必要があります。

### 耳に心地よい音楽

[グレアム・ストークス](#)メンバーの一人が、即興音楽について語り合えるミュージシャンを探しています。ミュージシャンでなくても、こちらのリンクをクリックして彼の音楽のサンプルをお楽しみいただけます：[即興 - グレアム・ストークス](#)

ビデオチャットルームでコンサートを開催したほうがいいかもしれません。[参加してみませんか？](#)コメント欄で教えてください。

### 付点のない音楽



5歳くらいの頃、ピアノの鍵盤の真ん中あたりにある黒鍵を弾いていた記憶があります。「弾く」というのは、やがて曲を弾くことになりました。マーガレットおばさんが教えてくれた「Oh! Can You Wash a Sailor's Shirt . . .」です！

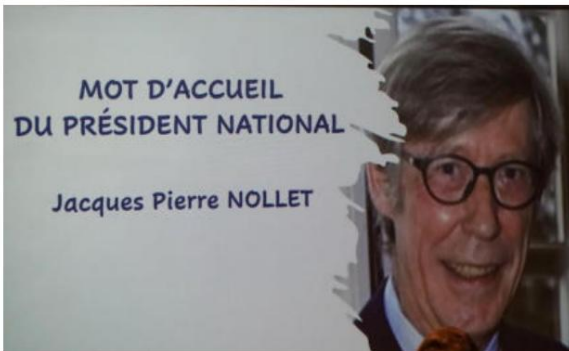
今では90代になり、以前よりずっと上手に演奏できるようになりました。学校では音楽で「優」の成績を取り、その後は長年教会のオルガン奏者として活躍しました。

しかし、私は今でも耳コピで演奏し、短いピアノ曲を即興で演奏するのが好きです。ここにMP3録音のサンプルを添付します。これはデジタルピアノで即興で録音したもので、楽譜に書き写したり、編集したりは一切していません。まさに「付点のない音楽」です。

私のような趣味を持つ引退したミュージシャンは、本当に稀なようです。もしよろしければ、お話を聞かせてください。

## プロバスフランスの総会で国際的に楽しい集まり

プロバスフランス、プロバスベルギー、プロバスオランダ間の国際交流を促進することは「伝統」となっています。北フランス、リール近郊で開催されたプロバスフランスの年次総会は、プロバスフランスのジャック・ピエール・ノレ会長にとって、この機会にふさわしいものた。プロバス・ベルギーとプロバス・オランダを招待し、12月11日木曜日にベルギー国境に近いマルク＝アン＝バルールで開催されました。



プロバスフランス会長が2025年総会参加者を歓迎



オランダ (NL)とベルギー (B)からのゲスト

ゴージェ・ド・ブラバンデル (B)、ブリジット・クイペルス・ヴァン・デン  
アセム (NL)、フィリップ・デルバール (B)

会議中、プロバスフランスの国際関係担当のクリストフ・ルルス氏が、2025年にプロバスベルギーのクラブと行われた交流について発表し、プロバスグローバルについて紹介しました。

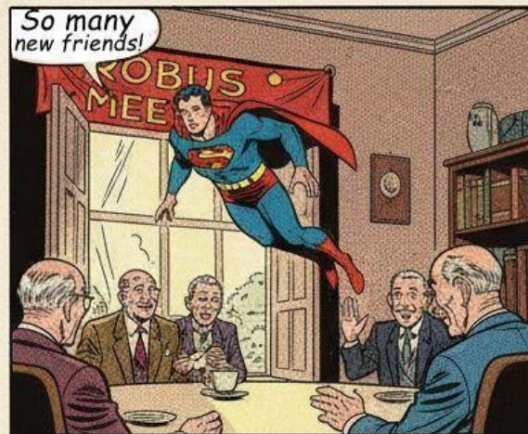
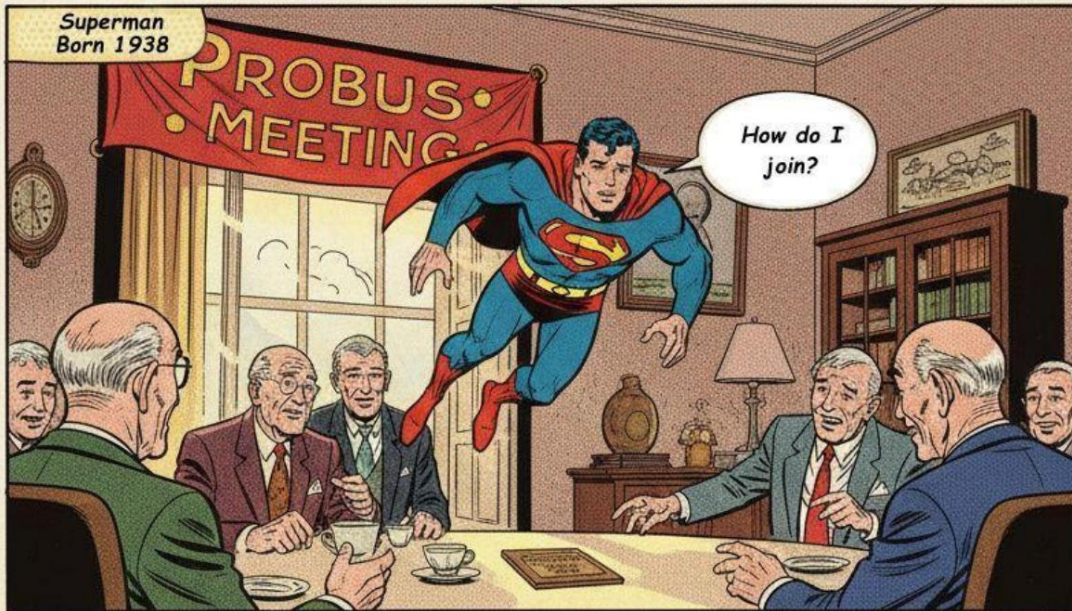
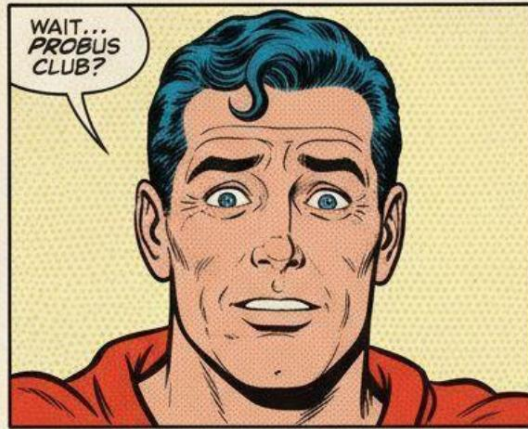
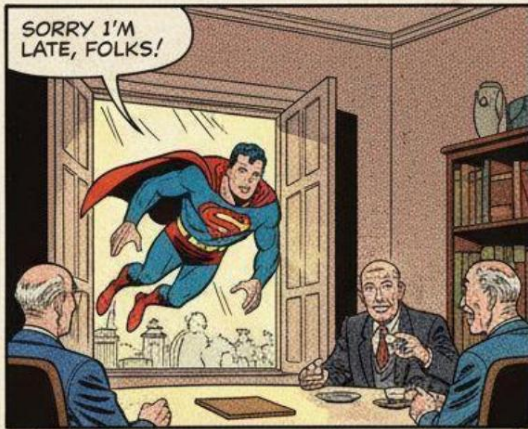
ブリジット・クイペルス・ファン・デンアセムは、プロバスベルギーのフィリップ・デルバールとゴージェ・ドゥ・ブラバンデルとともに、プロバスオランダ代表として100キロの長距離移動を苦にできなかった。

この会場は、フランスの北と南、東と西のクラブ間の交流を促進し、様々な国のプロバスクラブと会員を繋ぐ理想的なプラットフォームとなっています。この機会を通して、様々なプロバス組織の慣習や規則における類似点だけでなく相違点も認識することができました。私たちは皆、人脈を広げ、相互交流を図るためには、お互いを知ることの重要性を認識しています。

構成の整った正式な会合の後、飲み物を片手にゆっくりと交流する時間があり、その後は豪華で和やかな食事が続きました。午後には、共通の関心事に関する興味深いプレゼンテーションを聞く機会もありました。

2024年にベルギーのクラブ、イゼゲム・マンデルがランスに交流訪問し、2025年にはプロバス・エベルネ・シャンパーニュがベルギーに再訪問し、その熱意を目の当たりにできたことは、大変喜ばしいことでした。同じイゼゲム・マンデルは、2025年の年次旅行中にフローニンゲンでオランダのクラブのメンバーと会う機会を設けました。より多くのクラブが友情を築き、これらの興味深い例に基づいて交流を企画します。

-ゴージェ・ド・ブラバンデル



[MakeComics](#)によって生成されました